

実習日：平成 29 年度Ⅱ期 11 月 1 日
実習先：大分三愛メディカルセンター
大学名・学年：九州保健福祉大学 5 年
氏名：中野早緒里

今回ゆふみ病院での実習ではカンファレンスへの参加や院内の見学、麻薬の取り扱いや調剤、服薬指導の様子などについて学ばせて頂きました。

実習をさせてもらう前までは、ホスピスとは治療を行えなくなった方が静かに死を待つ場所だと思っていました。しかし、実際には患者さんが患者さんや家族の方が自宅のように過ごすことができ、患者さんが今やりたいことを実現することができる場所だということがわかりました。そのために様々な職種の方がチームとなって患者さんや家族と向き合い、身体的な苦痛に対してだけでなく生きる気力をもってもらえるようなケアが行われていることを知りました。また、薬剤師として痛みによる苦痛を取り除くことで、患者さんが本当に望んでいることを見つける手助けができるということがわかりました。服薬指導では、患者さんの不安や悩みをととても親身になって聞かれていて、患者さんが納得できるまでじっくりお話しをされている様子が印象的でした。

今回の実習を通して、患者さんの不安な気持ちに寄り添い、その人らしく生活を送れる支えとなれるような薬剤師になりたいと思いました。お忙しい中、実習をさせて頂きありがとうございました。